

## 【復興支援道路】

# 一般国道 340 号立丸峠の小峠工区開通！！

沿岸広域振興局土木部宮古土木センター

県が「復興支援道路」として遠野市土淵栃内～宮古市小国間で整備を進めている一般国道 340 号立丸峠工区 (L=5.21km) のうち、立丸第二トンネル (L=0.92km) を含む小峠工区 (L=1.70km) が平成 28 年 12 月 11 日に開通しました。

当日は天候にも恵まれ、山本宮古市長、本田遠野市長、小向沿岸広域振興局長、堀江県南広域振興局長、県議会議員、地権者、宮古市立川井小学校の皆さまなど約 110 人出席のもと、開通式を開催しました。

開通式では宮古市長から「立丸峠の整備により安全で円滑な通行が確保される。大峠工区の早期開通に向け、着実に事業を進めて欲しい。」、遠野市長から「地域間連携にはトンネルが必要だった。両市の絆をより深めたい。」と祝辞をいただきました。

川井小学校児童からは、開通式を迎えての作文発表があり、「着工式の際は 4 年生でこれまで、現場見学、貫通式に参加し、防水シートにメッセージを書いたことが思い出となっている。命の道の重要さを感じ、復興についてこれからも考えていきたい。道路の開通により、宮古市と遠野市がさらに仲良くなれば良い。」などと発表していただきました。

県では、今年を「本格復興完遂年」と位置付け、各種事業の推進に取り組んでおり、この立丸峠についても、今後、遠野側の立丸第一トンネルを含む「大峠工区」の早期開通に向けて、安全に万全を期して全力で取り組んでいきます。



小向局長の式辞



山本宮古市長の祝辞



白旗所長の事業経過説明



本田遠野市長の祝辞

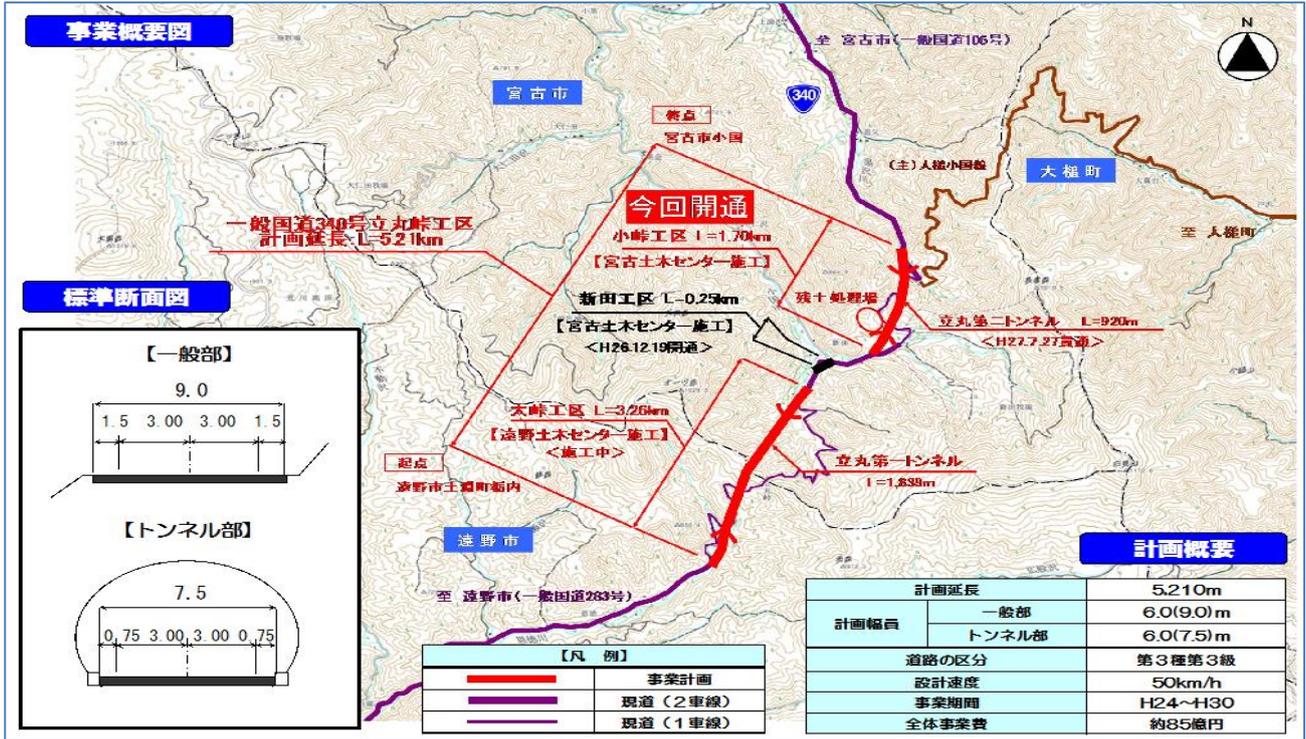


川井小学校児童からの作文発表



パトカー先導によるパレード

【立丸峠工区の事業概要】



【小峠工区】

- 平成23年度 一般国道340号を復興支援道路に位置づけ
- 平成24年度 9月定例県議会において「立丸峠工区」として新規事業化  
⇒新規事業化が年度途中に行われることは異例、復興への県の強い意志の表れ
- 平成25年度 道路詳細設計、トンネル設計、用地補償等を行い立丸第二トンネル工事着手  
⇒トンネル前後の道路改良を含めた小峠工区全線を一括発注により工期短縮
- 平成26年度 トンネル築造工事推進
- 平成27年度 トンネル築造、道路改良工事を推進（トンネル貫通式H27.7.27）
- 平成28年度 道路改良舗装、トンネル舗装、トンネル設備工事を推進

**新規事業化からわずか4年余りで開通！！**

【道路整備による効果】

- 【時間短縮等】立丸峠工区の整備により遠野～宮古間で約4kmの距離短縮、約6分の時間短縮
- 【災害に強い道路】隘路区間の解消、トンネル整備により冬期間の交通環境が大幅に改善
- 【安全・安心の確保、産業の支援】
  - 復興支援道路の整備により物資輸送等の緊急輸送道路としての機能強化
  - 救急医療施設へのアクセス向上
  - 「浄土ヶ浜」や「伝承園」などの主要観光地をつなぐ観光ルートの強化による観光活性化
  - 通勤、通院、買い物などの生活圏が広がり、広域的な交流、連携がさらに強化

**土淵バイパス**

●before

●after

約4kmの距離短縮  
約6分の時間短縮  
冬期間の交通環境改善

立丸峠

土淵バイパス  
H25.12月全線開通

宮古・遠野両地域の  
交流・連携を強化

**立丸峠工区**

●before

●after